

令和3年度 大和町立小野小学校

「小野小学校 学校再開 学びの保証」プロジェクトVI

令和3年10月1日
大和町立小野小学校
校長 手代木 吉之

朝夕に秋風を感じる季節となりましたが、保護者の皆様におかれましては益々御清祥のことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

間もなく前期終了を迎え、今月は5学年松島野外活動や6学年修学旅行が予定されています。これまで、各行事におきまして様々な変更や急な延期があり、御都合を付けてくださっていた保護者の皆様には大変御迷惑をお掛けしており、心よりお詫び申し上げます。児童の安全・安心を最優先に考え、感染症予防に努めながら実施に向けて準備をしておりますので、今後も保護者の皆様の変わらぬ御理解と御協力をお願いいたします。

4月28日に文部科学省から出された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～（2021.4.28 Ver.6）」と、現在の本校の児童の生活の様子を総合的に勘案し、「小野小学校 学校再開 学びの保証プロジェクトVI」として、体育学習と音楽学習に関するものを中心に、学校としての方針をここに公開いたします。

1. 音楽の学習活動について

現在の指導方針、活動の様子は以下のとおりです。

- ① 換気のため、教室のドアと窓は常に開けておきます（冷暖房を付けているときも常に）。
- ② 児童の距離はできる限り離し、児童同士が向かい合う配置にはしません。
- ③ 座っている児童と立っている児童が混在しないようにします。
- ④ 楽譜やプリント類の共用はしません。
- ⑤ 楽器や教科書は個人所有のものを利用し、児童同士の貸し借りは行いません。
- ⑥ 音楽室の楽器などを共用する場合は、使用前後に必ず手洗いをします。
- ⑦ 息や唾の飛沫からの感染を防ぐため、教室内でリコーダー・鍵盤ハーモニカ等の管楽器学習は行っていません。
- ⑧ 息や唾の飛沫からの感染を防ぐため、空気の流れのよい屋外（校舎犬走り等）でリコーダー・鍵盤ハーモニカ等の管楽器学習を行っています。
- ⑨ ⑧の場合も、夏場は熱中症予防のため、常に水筒を手元に置いて水分補給をさせています。
- ⑩ 息や唾の飛沫からの感染を防ぐため、歌唱・合唱は、従来のように「大きく口を開けて」「大きな声で」「遠くまで声を響かせるように」という指導はできません。歌唱・合唱は、マスクをしたまま、小さな声で歌うように指導しています。

- ⑪ 緊急事態宣言発出後は、器楽・歌唱ともに学習を控えています。そのため、音楽の年間指導計画を組み替え、学習する単元の順番を入れ替えたり、鑑賞の授業を充実させたりしました。

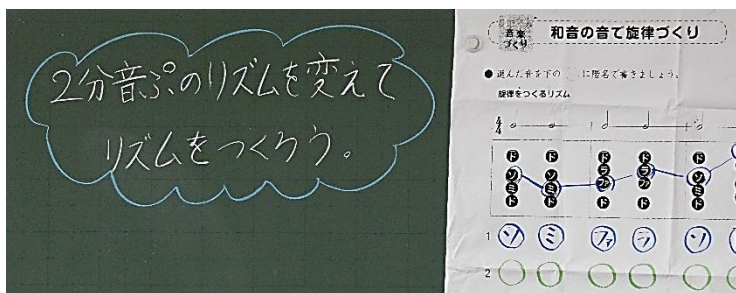
このように、様々な制限の中で器楽指導・歌唱指導を行ってきました。また、従来よりも歌唱指導に多くの時間を掛けない状況になったため、その分、従来はなかなか時間が割けなかった学習の充実に努めています(⑫)。

⑫ 歌唱や器楽以外の学習

(例)・教材CDを聞き、体を動かしながらリズム打ちを楽しむ。

- ・歌詞に出てくる言葉について、タブレットで調べる。画像を見てイメージをもつ。
→ 例：『アカシヤ』って白い花なんだね』『さんざし』って…何??(5年児童の声)
- ・作曲者について調べる。
→ 例：山田耕筰(「赤とんぼ」の作曲者)の他の作品を調べる
- ・楽譜を今までよりもじっくりと見て、和音や符号等について学ぶ。【写真1】
- ・タブレットの「バーチャルピアノ」で、自分で作詞した曲を演奏する。【写真2】

【写真1】



【写真2】



これから次第に寒い時期になってくるため、屋外での学習は天候のよい日に行う、防寒対策をしながら短時間で行って早めに教室に戻るなど、臨機応変に行います。

2. 体育の学習活動について

現在の指導方針、活動の様子は以下のとおりです。

- ① 児童が密集する運動や、近距離で組み合ったり接触したりする運動は行いません。
- ② チームの人数を制限したりコート/グラウンドの広さを工夫したりして、密集や密接を避ける工夫をします。
- ③ 原則的に学級単位で授業を行います(複数学級での合同体育は行いません)。



- ④ 学年体育見学会の練習及び本番は、距離を保ちながら合同で実施しました。練習は学級ごとに行い、学年全体での練習は最低限の回数で行いました。
- ⑤ 熱中症予防のため、体を動かす時間にはマスクを外します。ただし、感染症に不安のある児童はマスクを着用しても可としています。その場合は特に、水分補給に努めさせます。
- ⑥ 体を動かしていない時間は、体育の授業中もマスクを着用します。
- ⑦ 従来の「前へならえ」程度の距離ではなく、常に両手間隔で距離を取って整列します。これは、授業開始時・終了時の教師の話を聞くとときも同様です。両手間隔で広がったまま腰を下ろし（または体を斜めにして座ることで近接を避け）、話を聞きます。教師の指示は、必要に応じてハンドマイク等を使います。
- ⑧ 授業の合間にも水分補給の時間を取ります。
- ⑨ 校庭・体育館への移動の前後に必ず手洗いをします（鉄棒やうんてい、ボールなど、教具を共用することがあるため）。



これから涼しくなるとはいえ、なお熱中症予防は続けていきます。今後は、さらに次のことも取り入れていきます。

- ⑩ 授業前に水分補給してから校庭や体育館に移動する。

3. 朝や休み時間の外遊びについて

現在の指導方針、活動の様子は以下のとおりです。

- ① 7：40の昇降口解錠後、外遊びのために校庭を開放しています（7：45～8：00）。
- ② 朝の外遊びの後にしっかり手洗いができるように、時間を確保しています（8：00～8：10）。
- ③ 業間休みや昼休みの後にしっかりと手洗いができるように、遊ぶ時間と手洗いの時間の区切りをつけています。
- ・ 業間休み 10：15～10：30
 - ・ 業間休み後の手洗い 10：30～10：40
 - ・ 昼休み 13：15～13：30
 - ・ 昼休み後の手洗い 13：30～13：40
- ④ 朝や休み時間の外遊びでは、ボールの使用はさせていません。

④については、もともとの理由は「ボールの共用による感染を予防するため」でしたが、実際に始めてみると、予想外の効果が表れました。それは、

- ⑤ どの学年も鬼ごっこで校庭中を走り回ることによって、一人一人の運動量が劇的に増えた。

これには職員一同、目から鱗でした。

サッカーやキックベース等のボール遊びをすると、ボールが回ってくるまではどうしても待つ時間ができてしまいます。また、限られたコート内で遊ぶので、広く走り回るといこともできません。

ところが、ボールが使えないとなると、児童は鬼ごっこを中心に「走る」遊びに夢中になり、全員が元気に校庭中を駆け回る光景が日常となったのです。本当に走り回るのが楽しくて仕方ないらしく、この光景は昨年度から1年以上続いています。体作り・体力向上という点からも、とてもよい傾向だと思います。



コロナ禍で制限される事柄もありますが、新しい生活様式のもと、子供たちの思いをくみ取り大切にしながら、できることを精一杯模索していきます。どうぞ温かく見守っていただけたらと思います。

【問合わせ】

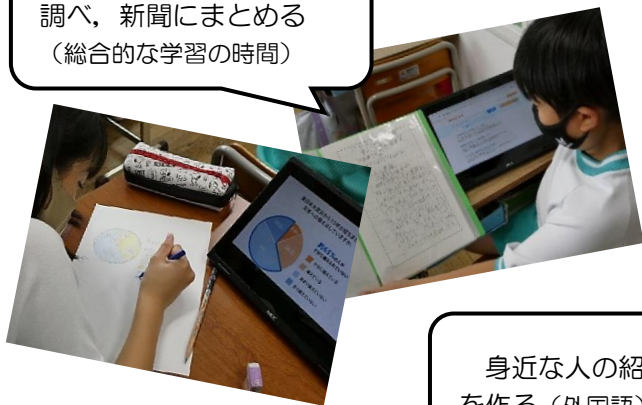
感染症対策全般について	:	教 頭	安藤 真由美
朝や休み時間の外遊びについて	:	教 頭	永沼 克之
音楽・体育の学習活動について	:	教務主任	加藤 順也

(文責：教頭 永沼 克之)

おまけ ～タブレットを活用した学習いろいろ～

ある日の5時間目に校内を回ってみると、学校中でタブレット活用の姿が…！

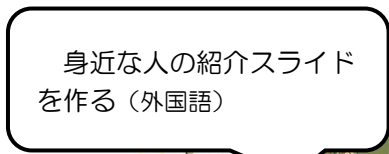
東日本大震災について
調べ、新聞にまとめる
(総合的な学習の時間)



eライブラリで個別最適な
ドリル学習 (理科)



身近な人の紹介スライド
を作る (外国語)



会津について調べる
(修学旅行事前学習)



バーチャルピアノで
リズムアレンジ (音楽)

